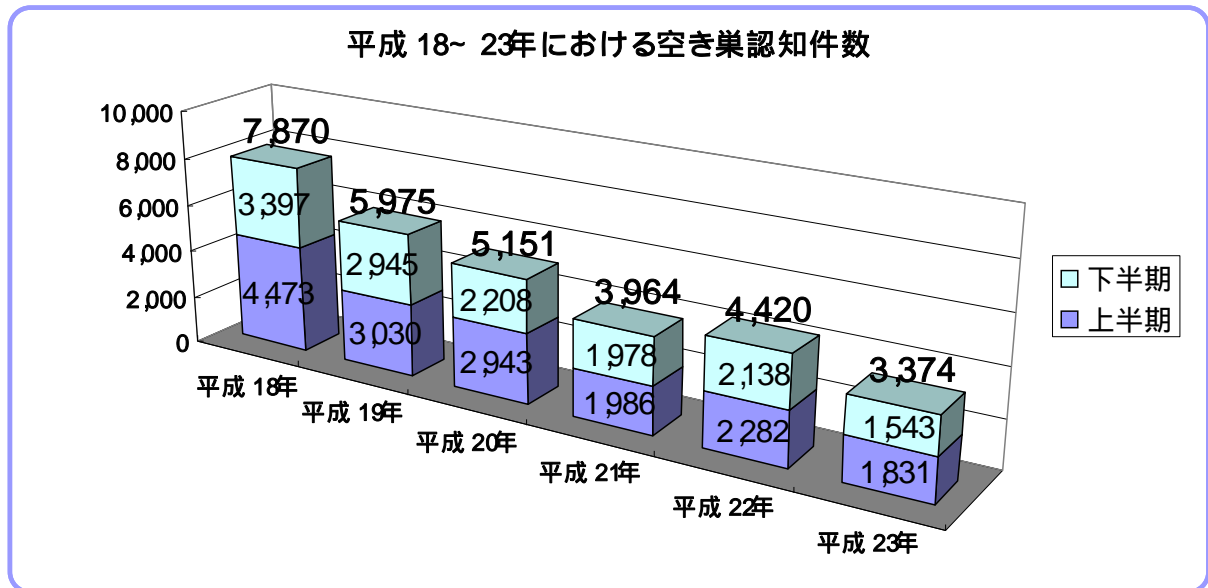


# 空き巣の分析結果（平成 23 年下半期）

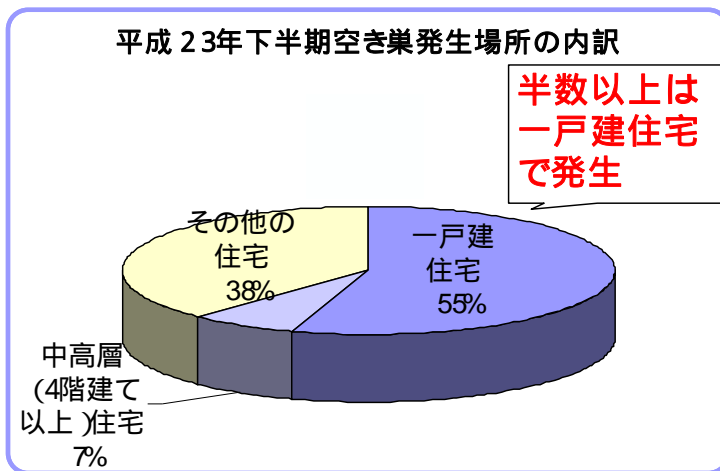
## 1 発生状況

平成 18 年から平成 23 年末までの推移



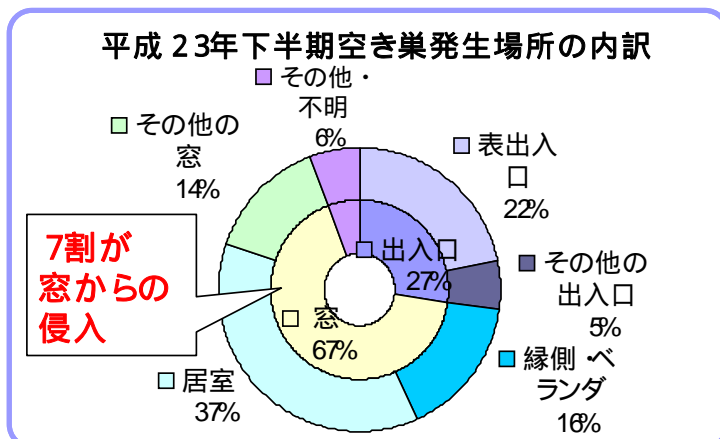
平成 23 年の認知件数は 3 3 7 4 件、7 8 7 0 件であった平成 1 8 年と比較すると 5 7 . 1 % 減であり、この 6 年で半減している。

## 2 発生場所



空き巣の半数以上は一戸建て住宅で発生している。これに対し、4 階建て以上の中高層住宅での発生は全体の 7 % にとどまる。

## 3 侵入口

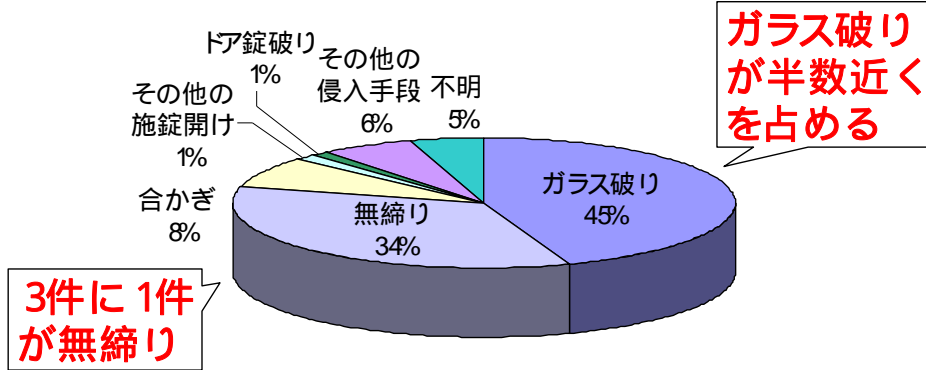


最も多いのは全体の 7 割近くとなる窓からの侵入であり、居室の窓から侵入される場合が多い。

出入口からの侵入は 4 件に 1 件程度である。

#### 4 侵入手段

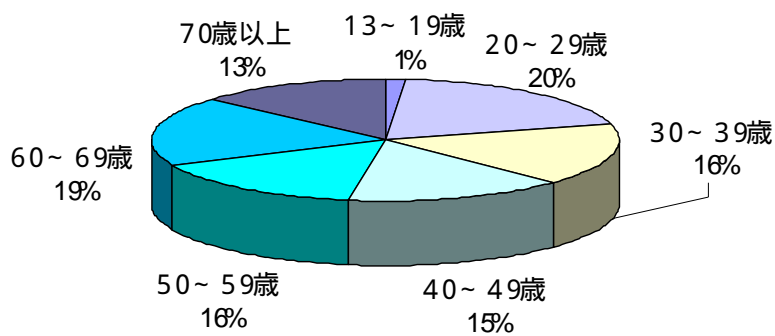
平成 23年下半期における空き巣侵入手段の内訳



半数近くがガラス破りによる侵入、次いで無締りを狙われる場合が3件に1件となる。

#### 5 被害者の年齢

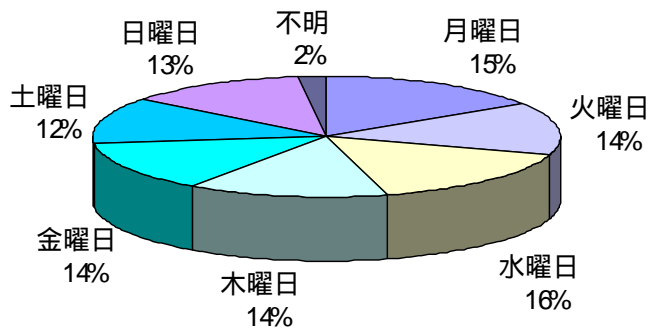
平成 23年下半期における空き巣被害者年齢別内訳



年齢層ごとで大きな差はなく、どの年代でも被害に遭っている。

#### 6 発生曜日

平成 23年下半期における空き巣発生曜日内訳



土日での発生は若干少ないが、その他の曜日では大きな差がない。